

# 国産粗飼料の大規模生産と広域流通

(鹿児島県：株式会社 さかうえ)

## 取組項目

飼養管理	良質堆肥の生産	堆肥の広域流通	国産飼料生産・利用	有機畜産	その他(※)
			○		

(※) 畜産GAP、農場HACCP、労働環境の改善、消費者理解の醸成 等該当するものを記入

### <取組主体について>

- 所在地：鹿児島県志布志市
- 代表者：代表取締役 坂上 隆
- 飼料作物作付面積：飼料用とうもろこし90ha、牧草63ha
- 雇用者数：80名
- HP等：<https://sakaue-farm.co.jp/>



コーンクラッシャー付きの自走式ハーベスタで収穫



ラッピングした製品 (1ロール約400kg)

### <取組について>

- 概要
  - 平成7年 有限会社坂上芝園設立。現在、野菜の生産販売(露地・施設)、畜産事業(繁殖・肥育)を中心に展開している。平成16年 地域の粗飼料生産の状況や畜産農家の要望に対応するため、粗飼料の生産・販売を開始した。さかうえでは、地域の農地を借り、露地野菜や飼料作物の生産・放牧地として活用している。また、近隣の畜産農家で発生する堆肥を受け入れて、育った飼料作物を畜産農家に供給する資源循環の体制を実現させた。地域内における酪農家や肉用牛繁殖農家を対象とした粗飼料の供給体制が確立されているだけでなく、現在は鹿児島県内全域や九州管内にも供給している。
  - コントラクターでの受託にも取り組んでいたが、現在は自社生産販売がメインとなっている。
  - 粗飼料の流通として必要とされる形態や希望価格等のマーケティング調査を行い、利用農家のニーズの把握や販路の拡大を図っている。
- 成果
  - 大型機械を導入し、大規模生産を行うことで生産コストの削減を実現。
  - 土づくりから製品販売まで一貫して実施できることから、安定した品質・量を供給することが可能。
  - 堆肥糞尿処理に困っている近隣の畜産農家から受け入れた堆肥や、飼料作物の収穫後の残渣は、繊維物が豊富で肥沃な土壌を育み、野菜の栽培に寄与。
  - 高齢化や後継者不足によって生まれた遊休農地を飼料作物栽培の圃場や牛の放牧地として積極的に活用し、地域社会の課題に取り組んでいる。
- 今後の課題
  - 輸入飼料の高騰により、需要の高まりを実感している。生産面積・収量の増加が急務。
  - 原料の高騰でコストが増加し続けている。ニーズに合わせて都度適正な価格の設定が必要。
  - 優秀なオペレーターの育成・雇用の促進。

